

[001] 九州大学極低温実験室だより表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/11016>

出版情報：九州大学極低温実験室だより. 1, 2000-10. 九州大学理学部極低温実験室
バージョン：
権利関係：

編集後記

この度、「九州大学極低温実験室だより」を、記念すべき Millennium の年 2000 年に第 1 号を発刊することができ、関係者一同、大変喜んでおります。

巻頭言には、理学研究院長伊藤明夫教授から寄稿を頂戴し、研究ノートには、理学研究院青峰隆文教授、システム情報科学研究院長原雅則教授、理学研究院成清修助教授に執筆をお願い致しました。青峰教授は、ご存じのように前極低温実験室運営委員長として、永きにわたり極低温実験室の運営に御尽力されました。原教授は、極低温実験室で供給される寒剤を利用し、ユニークで独創的な研究を展開されておられます。成清助教授には、最先端の物性理論の立場から、極低温実験の重要性・必要性について平易に解説して頂きました。また、技術ノートには、工学研究院河江達也助教授に執筆をお願いし、極低温実験室で購入しましたリークディテクターの利用方法と真空技術について解説して頂きました。御多忙中にも関わらず、原稿をお書きいただきました皆様に深く感謝いたします。

この「九州大学極低温実験室だより」は、1980 年 6 月に発刊された「九州大学極低温実験室」の後継となりますが、今回、装いも新たに名称を変更し、創刊号として発刊に至りました。この冊子を九州大学内外の研究者、大学院生の方々に、是非、読んでいただき、九州大学極低温実験室の存在を再認識して預けたら幸いです。

今後、年 1～2 回の発刊を目指して、寒剤（液体ヘリウム、窒素）を利用した研究成果や、寒剤を利用する際に役立つ情報を数多く掲載していきたいと考えています。

(TA)

九州大学極低温実験室だより 第 1 号

2000年10月発行

編集責任者	網代芳民
発行者	九州大学理学部極低温実験室
	〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
	TEL (092) 642-2701
	FAX (092) 642-2553
印刷所	株サガプリンティング
	〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田909番
	TEL (0952) 34-5100
	FAX (0952) 34-5200